

水を守り、生活を支え

今年で100年

本市の水道は、通水を開始してから今年で100周年。料理や洗濯、お風呂など私たちの生活に欠かせない水。何気なく使っている水のことをあらためて考えてみませんか。



※アーチ部分は水源地の石造り構造物をイメージしています。

クイズで知ろう! かごしまの水道

あまり知られていない「水道」のことを教えます!



配水管理課 前田 琴乃 技師

Q3 本市で一番大きな浄水場はどこでしょう?

A 河頭浄水場

本市で初めて河川から取水する浄水場として、昭和40年にできました。ここから市全体の約4割の飲み水を送り出しています。本市は河頭浄水場の他に、滝之神浄水場、平川浄水場があります。



3つの浄水場は管がつながっていて、災害時などに融通がきくようになっています。

Q4 本市が行う水道水の検査は何項目でしょう?

A 約200項目

水道法で検査が義務付けられている検査項目は51項目ですが、本市では約200項目の検査を行い、安全を確認しています。また、毎日100カ所で、色や濁り、しつかりと消毒されているかの検査をしています。



分析機器を用いて厳しくチェック



水の硬度を検査しています

Q2 水道水を作るための水源。本市にはいくつある?

A 109カ所

川や地下水、湧き水など良質な水源があり、その水源をもとに水を作っています。

浄水場へ 見学に行こう!

浄水場では団体での見学を受け付けています。詳しくは、各浄水場にお問い合わせください。

河頭浄水場

☎238-2555 FAX238-4488

滝之神浄水場

☎247-1997 FAX247-1171

平川浄水場

☎261-7219 FAX262-4788

これからも水源や浄水場などを大切に維持管理しながら、市民の皆さんに安全で良質な水を安定的に供給していきます。

今後とも、ご理解とご協力をお願いします。



災害にも備えています

万が一災害が発生しても、迅速に安全な水が提供できるよう、日頃から訓練しています。



1 断水時を想定し、給水車から飲料水を提供する訓練 2 壊れた配水管を修理する訓練 3 現場へすぐに水を提供するため、迅速に給水車へ注水する訓練

マンホール蓋にも注目!

全国でも流行しているカラーデザインマンホール蓋。本市でも9月末から設置しています。あまり気にしていなかった下水道のマンホール蓋を探しに出掛けてみませんか。

設置場所

鹿児島中央駅東口・西口、かごしま水族館付近、市役所本館前、市立美術館前、騎射場電停〜白波スタジアムまでの間の歩道

※詳しい設置場所は水道局ホームページをご覧ください



観賞や写真撮影をする際は、歩行者の通行の妨げにならないよう、十分注意してください